

熊本地震各地で救援募金

「現地に友だち」 大阪・田尻町

大阪府田尻町阪南地区の吉開育子、小川雄司両町

「現地は大変そう」と声がかかり、1時間半で38039円の募金が集まりました。あつし県議候補と高田東支

「がんばって」 奈良・大和高田市

奈良県大和高田市のJR高田駅前では26日朝、太田あつし県議候補と高田東支

援に全力を挙げていることを報告すると「頑張ってください」など声をかけて募金を寄せる人もいました。

地震を巡る今後の対応

松岡勝熊本県委員長

した「令和8年熊本地震」への対応について、松岡勝熊本県委員長(党中央地震対策本部副本部長)に聞きまし

職場支部の継承

8中総を力に

関西の自治体職場で、「Q&A『資本論』(赤本)」「Q&A『資本主義と自由』(青本)」の学習に参加していた40代の労働組合役員が入党しました。

この労働組合は、以前から同期入局の党員などから入党の動きを受け、入党には至らなかったものの、昨年から「赤旗」

「赤本」学びためらい払拭 40代入党

日曜版の購読をはじめました。労働組合では7月、全国的な労働活動をおして、「学習が大事だ。もっと学びたい」と発言していたのを受けて、同期の党員は職場支部で取り組む「赤本」学習会への参加を呼びかけました。

「赤旗」読者増勢あと一歩 補選勝利へ対話こつこつ

北海道小樽市 長橋支部

北海道小樽市の長橋支部は26日までに継続を含めて「赤旗」読者で日刊紙4人、日曜版12人を増やし、今月の増勢まで、あと一歩のところまできました。大幡基夫機関紙活動局長の「訴え(同日付)」を受けて、8月1日の申請時まで奮闘する構えです。

「ずっと党と歩みたい」 記念講演視聴の読者入党

東京・立川市 砂川西支部

東京都立川市の砂川西支部は26日、党創立記念講演を視聴した70代の「赤旗」読者を党に迎えました。

支部との出会いは6月の市議選。配られたチラシを見

と市民によびかけています。支部は浅野候補と一緒に、あるいは支部独自の選挙と一体で読者拡大の行動にとりくみ、後援会員や支持者、元読者に対して、悪法を次々に成立させる高

自分はそのをずっと守っている「涙ながらに話している」。

配達中、イノシシと衝突 思わぬ金額の見舞金

私は昨年10月、「しんぶん赤旗」配達中にいきなりイノシシが道から飛び出してきて、避けきれず衝突、肩と胸に受傷しました。救急搬送され、3週間近く入院。さらに半年間通院しましたが、今はすっかり回復し、もうおわり配達にも復帰しています。

見舞金は党支持者にも支給されるの? Q. 配達を支部の党員だけで支え切れず、党支持者にも協力していただいています。党支持者が配達中の事故に遭っても、見舞金は支給されますか? A. 救援・救済制度は、「党に協力

さいたま市・浦和南支部 石川さん(仮名、50代)

「左にかじ、生きる意味に」とつづった

●共産党への入党を意識し始める 2025年11月16日 今ある問題意識を、決して「過性」のものにしてはいけないという結論を得た。いつかいつかの躊躇(ちゆうちゆう)もなく僕は左にかじを切り、それを「生きる意味」としよう。

私、入党します。

支部に新鮮な空気 支部長・加賀見さん 石川さんの入党は、支部に新鮮な空気をもたらしています。浦和南支部の加賀見信也支部長は言います。